

新庁舎建設かわら版 ～第3号～

「新庁舎とまちづくり 各務原市防災講演会」を開催します

東海地方は、マグニチュード8～9の巨大地震の発生確率が最も高いといっても過言ではありません。

差し迫る南海トラフの巨大地震への備えのひとつとして、地震についての理解を深めるとともに、阪神・淡路大震災から20年を迎えその経験から学ぶことも重要です。

お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

日時:平成27年10月6日(火)

午後1時30分～4時30分(開場:午後1時～)

会場:各務原市文化ホール(蘇原中央町2-1-8)

定員:先着500人(当日受付・無料)

講演内容

第1部:「差し迫る南海トラフの巨大地震

～各務原市民の自助・共助による減災は可能か～

杉戸真太氏 岐阜大学理事兼清流の国ぎふ防災・減災センター長

「南海トラフの巨大地震がなぜ差し迫っていると言えるのか?」や「想定される地震の規模と特徴」、「巨大地震にどのように備えるか」など40年以上の地震工学の研究をもとに、分かりやすくお話しいただけます。



杉戸 真太氏

第2部:「阪神・淡路大震災～その体験を語る～」

谷川三郎氏 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター語り部

平成7年に発生した阪神・淡路大震災の当時、芦屋市建設部長として救援・復興に尽力された実際の経験をもとに、被災状況や地域で効果的だった活動等について当時の映像等を交えてお話しいただけます。



谷川 三郎氏

10月に「新庁舎タウンワークショップ ～みんなの新庁舎を考えよう～」を開催

新庁舎の建設に向けて、市民の皆さんに愛される新庁舎を計画していくため、新庁舎タウンワークショップの開催(10月13日から22日までの平日夜)を予定しています。説明会形式ではなく、参加者全員が意見を出し合えるワークショップ形式で、いただいたご意見は、新庁舎建設基本計画策定に向けた検討を行う中での参考とさせていただきます。

詳細は、市ウェブサイトや広報紙(10月1日号)、回覧等でご案内させていただきます。

新庁舎建設基本計画策定委員会が半田市役所を視察

平成27年8月5日(水曜日)午前10時から各務原市新庁舎建設基本計画策定委員会が新庁舎建設の先進自治体である愛知県半田市役所(平成27年1月5日オープン)を視察しました。



▲庁舎地下の最新の免震構造



▲ゆとりある待合空間

新庁舎の機能について考える市民ワークショップ

第2回新庁舎の機能を考える市民ワークショップ(以下「WS」といいます。)を平成27年8月3日(月曜日)と7日(金曜日)に開催しました。



案内表示のわかりやすさを確認



現庁舎の課題と提案を話し合い

第2回WSの概要

前回の振り返りと本庁舎の見学を行った後、現庁舎の課題について話し合いました。WSで出された主な意見は下表のとおり。(詳細は市ウェブサイトをご覧ください。)

現庁舎の課題(現状)	あるべき姿(提案)
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の台数や車いすの方への配慮が足りない ・全体的にスペースがせまい ・段差が多く、障がい者や高齢者に優しくない ・関連する部署が近くに配置されていない ・授乳室が奥にありわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は200台くらい確保、車いすで雨に濡れない工夫 ・ゆとりのあるオープンな雰囲気にしてほしい ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの庁舎に ・利用頻度の高い課は1階。関連する部署は近くに ・利用者考えた授乳室・キッズスペースを設置

第3回WSは平成27年8月22日(土曜日)午後1時から開催しました。

第3回WSの概要

前回までに出了れた現庁舎の課題を踏まえ、市民にやさしい庁舎について、3班に分かれて話し合いました。

WSの結果は下図と右下の表のとおり。(詳細は市ウェブサイトをご覧ください。)



市長から開会のあいさつ



3班に分かれての話し合い



▲各班で話し合った結果(主な意見は右表)

機能の分類	新庁舎はこのようなものに(意見、提案、アイデアなど)
わかりやすい案内	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内は入って見やすいところに ・エントランスを広くし、災害発生時に活用する ・案内表示はシンプルでわかりやすく
市民にやさしい窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉など市民の利用が多い窓口は1階にまとめる ・手荷物が置けるなど気遣いが感じられる窓口に ・仕切りや相談室などプライバシーが確保できる
ゆとりある待合スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーや車いすが通れるゆとりのある待合に ・柔軟に対応できる待合スペース ・角が丸い多人数用のベンチを多く設置 ・キッズスペースは独立ではなくオープンスペースに